NIE実践報告

1．タイトル：☆**「沖縄ならでは」の文化の秘密を探ろう**

2．学校名

熊本県球磨郡五木村立五木中学校

3．実践者名（代表者名）

中島　沙知

4．学年

**第2学年**

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

**社会　11人**

6．単元（本時の学習課題）名

「独自の生活文化を持つ沖縄」

7．目標(狙い)

「熊本日日新聞」と「沖縄タイムス」の記事を読み比べ、記事の取りあげ方が異なっていることや地元紙にしか掲載されていない記事などに注目させ、沖縄の独自の文化に気づかせる。

8．評価の視点

「沖縄タイムス」の記事からパパイヤや珊瑚礁の海の記事を見つけ、沖縄の気候を熊本と比べたり、その理由を考えたりすることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

**「世界と日本の生活と文化」(教科書教材:東京書籍)4時間**
**「独自の生活文化を持つ沖縄」2時間　　合計6時間**

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

**主な学習活動**

**①「沖縄タイムス」「熊本日日新聞」の2紙を配布し、記事の比較をする。(15分)**
**②沖縄の産業のグラフを見てわかること、想像できることを考える。　(15分)**
**③沖縄が独自の文化を持つようになったのはなぜかを考える。　(17分)**
**④授業の感想を書く。**
**(留意点)**
**学習活動①で、平成20年10月15日の「熊本日日新聞」と「沖縄タイムス」の比べ読みを導入した。同じ内容でも取りあげ方が異なっていることや、地元紙にしか掲載されない独自の記事があることに注目させ、沖縄(熊本)の独自の文化に気づかせていった。**

11．児童・生徒の反応、感想・意見

多くの生徒が「沖縄タイムス」の記事をもとに、政治・経済・気候・慣習などにも考えを発展させ、自分なりに見解を持つことができていた。さらに、「もっと他の県の新聞も見てみたい」という前向きな感想が多かった。

12．成果と課題

**たった1枚の記事や写真からもその背景(気候・政治・歴史など)を想像することなど、社会科にとって必要な『結びつけて考える力』を新聞を利用することで高めることができた。今後は、今回のように生徒に自由に読ませるだけでなく、教師が明確な意図を持って読ませるなど、新聞の使い方を変えることで、さらに多様な力をつけていきたい。**